

NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟 広報誌

# ひびきあい

## 第27回通常総会開催報告

2024年1月29日(月)午後、市川市本八幡の全日警ホール第2会議室で第27回通常総会を開催しました。開会に先立ち、山口事務局長が全シ連の正会員37名に對して、当日の出席者18名、委任状による参加16名で総会の開催成立を確認しました。

最初に理事長の挨拶として、岡村前理事長のこれまでの多大な業績に感謝を述べるとともに、今年から新たな体制での路線を引き継ぎ、今後は更なる発展を臨みたいと述べ、さらに今年の最大の目標である第17回全国大会の完遂に、皆さまの協力をお願いしました。次いで、宮崎副理事長を議長に、津田望理事、長谷川夏子理事を議事録署名人に選定して議事を開始しました。

第1号議案の前年度の事業報告では、コロナのために中断していた第3回楽器別交歓会を無事に実施できたことを報告しました。63名の参加を得て2グループに分かれて合奏を楽しみました。そのほか、ハワイ大学との交流の検討に着手し、また新規楽団としては木更津SE、佐倉SE、川口SEの加盟があり、37楽団になりました。また、コロナが収まってきたことから、各団の演奏活動が復活し、後援は13楽団に達するという充実した年になりました。

活動報告としては、第26回通常総会開催を3月31日に開催、理事会を6回開催、機関誌ひびきあいを3回発行しました。また、去年は「楽譜ガイド2024年版」プロジェクト会議を開催し、完成した「楽譜ガイド2024年版」を今年の総会の席上各団に4部ずつ配付しました。

第2号の会計報告は、宮崎副理事長が代理でほぼ予算通りに推移したことが報告され、第3号議案の監査報告では柴田守氏が監査結果を報告しました。



第4号議案の新年度事業計画と活動計画では、5月26日(日)に開催予定の第17回全国大会(創立25周年記念)の概要の紹介、さらに新規2楽団(越谷、鎌田)の発足予定と、周年行事の4回の理事会、3回の『ひびきあい』発行、8楽団の定期演奏会の後援などの計画を報告しました。

なお、第5号議案では準備されていた会計予算案に対して修正案が急遽提案されました。ハワイ大学との国際交流のための費用が、往復で50万円以上掛かることが判明したので、急遽交流を中止することにしたためです。この代わりとして、1月初めの能登石川地震や東北地震の被災地の慰問演奏会などを検討することになりました。

第6号議案では、全シ連の本拠地を宮崎副理事長宅にするため定款を改正することと、理事として3名(長谷川夏子、金山英子、工藤順一)の新任と、岡村前理事長の名誉理事長就任を提案しました。

最後に賛助会から、昨年は「全シ連25周年記念誌」を発行したことに伴う特別賛助金の募集を行ったので、総額として例年の倍以上の71万円が集まったことが報告されました。賛助会の皆様には厚く御礼申し上げます。(松永恒文)